

第5回 阪神高速事業アドバイザー会議 議 事 概 要

1. 日 時：平成29年11月2日（木）16：00～17：30
2. 場 所：阪神高速道路株役員会議室
3. 出席者：北前委員、近藤委員、斎藤座長、正司委員、関委員、中浜委員、矢野委員
(50音順)
4. 議事要旨：
 - 「議事(1)前回議事概要」について事務局より説明。
 - 「議事(2)平成28年度決算報告・平成29年度の取り組み・トピックス」について、事務局より説明の後、委員から以下のとおり意見が出された。
 - * 泉大津PAの11階は、活用しないともったいない。PAなどは、施設全体を運営の得意な事業者任せの方がよいPAになるのではないか。
 - * 乗り放題パスは知らない人も多い。大型ショッピングセンターなど、お客さまの目につく場所にチラシを置くのがよいのではないか。
 - * 関西エクスプレスウェイパスは、ネクスコと一体で実施している点で画期的。今後の継続や国内向けの商品企画などにもポジティブに取り組んでほしい。
 - * 民間会社なのだから、利益を出して変動のリスクに備えて、内部留保を長期的に考えておく必要がある。
 - * 災害時にはもっとおしゃべりな阪神高速になって欲しい。災害発生時の今の状況について、場所々々に応じたきめ細やかな情報が得られるようにすべき。ラジオやETCも有効なツールではないか。今後、自動運転システムとの連携も考えられるので、阪神高速側も体制を作っておく必要があるのではないか。
 - * 工事規制情報なども、現場近くだけでなく、もっと早めに街路等で情報を得られるようにしてもらえると、ドライバー側で対処できる。
 - * 高速道路では、案内は止まってみるできない。住んでいる外国人にとっても観光で来る外国人にとっても運転のしやすい道路を目指して欲しい。

*その他、湾岸線リニューアル工事や関連事業、広報の内容・手法等に関して質疑応答等があった。

－以 上－